

小5の予習・復習から大学受験まで

TLTWin PERFECT LEARNING 教材カタログ

弱点にポイントをしばって超スピードの完全学習, テスト対策・授業の予習・復習に最適



KYOIKUSOFT

TLTWin CONTENTS

PERFECT LEARNING

TLTWinについて	2
・ TLTWinとは？ ・ 使用できるハードは？	
小学生	3
・ 小学生ソフトの勉強方法は？ ・ 教科別の特長は？	
中学生	4
・ 中学生ソフトの勉強方法は？ ・ 成績保証, 基本速習の選択基準は？	
高校受験	6
・ 高校受験ソフトの勉強方法は？ ・ 教科別の特長は？	
高校生	10
・ 高校生ソフトの勉強方法は？ ・ 英語, 数学の特長は？	
大学受験	11
・ 大学受験ソフトの内容は？ ・ スケジュールの組み方は？	
センター対策	14
・ センター対策ソフトの内容は？ ・ 教科別の特長は？	
英検, 漢検	15
・ 英検とは？ ・ 英検ソフトの内容は？	
使い方のQ & A	16
・ 必要な周辺機器は？ ・ 操作方法の質問は？	
・ 初心者でもかんたんに使えるの？ などのQ & A	

TLTWin とは？

PERFECT LEARNING

TLTとは、**T=Testing** (自分の学力をチェック)、**L=Learning** (必要なところだけを学習)、**T=Training** (覚えるまでくりかえし演習)の意味です。

人間の脳のしくみは、覚えたことをすぐに取り出せる「主記憶装置」と「補助記憶装置」の2つに分かれています。いつも使わない記憶項目は「補助記憶装置」に追いやられてしまうので、取り出す(=思い出す)のに時間がかかったり、あるいは取り出せなくなって(=忘れて)しまうのです。

TLT学習システムは、**Testing, Learning, Training**を徹底して行うことによって、入試に必要な学習項目を、自然に無理なく「主記憶装置」に入れていくという発想に基づいて設計されています。

まず **Testing** で、学習している本人が自分の学力や弱点をはっきりつかむことができますから、短時間で効率的な学習が可能となります。

Learning, Training では、TLTソフトに組み込まれたコンピュータの「習熟度判定機能」と「学習管理機能」が、まちがえた問題(=弱点)を本当に覚えきってしまうまで、自動的かつ半強制的に演習をくりかえしますから、いつのまにか完全に自分のものにしてしまうことができるのです。

『記憶すること』に関しては、まさに他に類を見ない画期的なシステムです。



★こんなパソコンでご利用いただけます

■動作環境

- ・ PC/AT互換 (DOS/V) 機、NEC-PC98シリーズ (NX以降) で下記の条件を満たすもの (MacintoshでのPC/ATエミュレータ、FM-TOWNSシリーズはサポートしていません)。
- ・ Windows® 95, 98またはMe (日本語版) が正常に動作するパソコン。
(新課程対応版は、Windows® 2000, X P でも数機種で動作を確認していますが、全ての機種での動作を保証するものではありません。)
- ・ CPUは 486DX/66MHz以上。(Pentium® プロセッサ 100MHz以上を推奨)
- ・ 必要メモリーは16MB以上。(32MB以上を推奨)
- ・ 教材をコピーするのに十分なハードディスクの空き (20MB) があること。
- ・ 画面が 640×480ドット以上、256色以上(High Color (16-Bit) 以上を推奨)表示可能な機種。
- ・ 倍速以上のCD-ROMドライブと1.44MB対応の3.5"のFDD (ただし、単語・熟語ソフト等一部のソフトのUSB接続の外付けドライブでは、お使いになれません。) が同時に使用できること。
- ・ 学習管理表を印刷するには、各Windows® に対応したプリンタが必要です。

■Windows® は、米国Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

・ Pentium® はIntel Corporation の商標または登録商標です。

・ その他の会社名、商品名は、各社の商標または登録商標です。

■このCD-ROMおよびFDに収められているデータは、著作権法によって保護されており、無断で転載・複製することはできません。

■本製品の使用により万一お客様に損害が生じたとしても、弊社および販売会社は責任を負いません。お客様の操作方法のミスによってFDを破損なさったときは、交換手数料がお客様負担となりますので、ご注意ください。

小学生

短時間で、
予習・復習ができる
!!



4つのポイントにより、短時間に最大の効果があげられます。

1. 授業、小テストにピッタリあった内容を学習できます

授業の進度にあわせて、予習でも復習でも使えます。算数、理科では、単元が終わったときのテスト対策として、『実力テスト』も用意されています。

2. 自分にあった学習方法がとれます

自分のレベルより簡単な問題から始め、だんだん難しい問題にチャレンジしていくことによって、無理なく学習がすすめられます。

得意な教科でも、不得意な教科でも、それぞれのレベルにあった問題に取り組めるので安心です。

3. 弱点を逃しません

苦手な問題、おさえておきたいポイントについては、的確な説明が表示されるから、弱点、重要事項を逃しません。

4. 進度がわかり、楽しく勉強できるので、継続が可能

学習進度・到達度が記録されていて印刷することができるので、自分で学習スケジュールをたて、確認することができます。

イラストも入り、楽しく勉強できるから、中学に向けて、自分で学習する習慣を身につけられます。

★学習部分……予習や、算数が苦手な方の復習にピッタリ。

★テスト……いくつかの考えのまとめとして用意されており、対策に最適です。中学受験の基礎固めにも使えます。

●標準学習時間……40～60時間

・予習・復習に最適の「学習部分」と、小テスト対策に最適の「テスト」とに分かれています。

・答えのみの入力とし、できるかぎり入力の手間をなくしました。わからない場合は、詳しいコメントを用意し、算数が苦手でも無理なく学習できる構成になっています。

・中学受験の基礎固め、中学入学にそなえて、小学6年間の総復習にも使えます。

算数

$$\frac{3 \times 2}{\sqrt{1}}$$

国語

漢字
読書

・「漢字編」「言葉編」に分かれています。教科書以外の重要事項をふくんでいるので、中学受験の基礎固め、小学6年間の総復習にも使えます。

・小学6年生の平均的な学習時間を考慮して、週2回、各30分学習すれば、終わる分量としました。

★漢字編……6年生の配当漢字181字を学習。書きは「漢字練習プリント」でも学習できます。

★言葉編……「敬語の使い方」「接続語のはたらき」など、15単元149項目に分けて学習。

●標準学習時間……40～55時間

★予習・知識の確認……画面上の説明を見ながら、重要事項を入力しながら覚えていきます。予習や理科が苦手な方の復習にピッタリ。

★基本ドリル……学習単元での重要事項をすべてチェックできます。復習に最適。

★実力テスト……単元ごとに実施されるテスト対策に最適です。難関私立小のテスト問題もふくみますから、中学受験の基礎固めにも使えます。

●標準学習時間……60～80時間

・「予習・知識の確認」、「基本ドリル」、「実力テスト」に分かれていますから、最適の使い方ができます。

・星座の移り変わりでは、星座の動きを画面上で確認することができるので、小学生でもあきることなく、わかりやすく学習できます。

理科



社会



・「まとめ」、「チェック」、「総合問題」に分かれていますから、予習、復習、テスト対策にも利用できます。

・初回Testingで誤答した内容だけ学習できる復習や、何回でも可能な総チェックもついています。

★まとめ……学習単元ごとに大まかな流れをつかみながら、内容を学習します。

★チェック……知識・考え方を確実に覚えるための練習問題です。チェック問題をクリアできれば、教科書はカンペキです。

★総合問題……実力を評価するための問題です。学校のテストよりやや難しく、私立受験での基礎固めにも利用できます。

●標準学習時間……20～30時間

漢字
読書

書かずにおぼえる小学校1006漢字 ●標準学習時間……20～30時間

小学校で学ぶ漢字を、正解を選ぶ選択式学習で一気にマスター。ゲーム感覚で頭に定着させることができます。

中学受験（算数・国語・理科・社会）

●標準学習時間……各30～50時間

中学受験に必要な学習項目を、1教科30～50時間でマスターできます。

★受験生の自宅学習をサポート…実際に出題された入試問題を分析し、よく出る学習項目にしばって演習できます。

★3つの学習区分にわかれ、もっとも効果的な学習

初回 Testing ⇒⇒⇒ 復習（または完成）⇒⇒⇒ 総チェック

中学生

短時間での点数アップが可能

4つのポイントにより、短時間に最大の効果があげられます。

1. 定期試験に必要な事項を もれなく学習できます

基本のチェックの穴埋め問題から学習を始め、試験に出題される発展問題までを、無理なくステップをふんで学習できます。

2. 自分にあった学習方法がとれます

基本のチェックから、ステップをふんで学習するのが基本ですが、その単元に自信があるときは、総チェックや保証テストに挑戦し、合格できない単元だけ、基本に戻って学習することができます。

3. 弱点を逃しません

苦手な問題、おさえおきたいポイントについては、的確な説明が表示されるから、弱点、重要事項を逃しません。

4. 学習の進度が記録されています

学習進度・到達度が記録されていて、印刷することができます。自分で学習スケジュールをたて、確認することができます。

*レベル、学習時間によって、最適のソフトを選択することができます。詳しくは、各教科の紹介を参考にしてください。

★こんな使い方ができます

① 授業終了ごとに復習する場合（英数の場合、この方法がおすすめ！）

授業を終了するごとに、学習した範囲を終了させておこう。学習後、すぐにチェックすることによって、あやふやな部分をなくすことができます。

テスト直前に、〔復習〕〔総チェック〕をやっておけば、効果的な学習ができ、カンペキにすることができます。

② 単元終了ごとに復習する場合（理社の場合、この方法がおすすめ！）

単元の学習が終了するごとに、学習した単元を終了させておこう。学習後、すぐにチェックすることによって、あやふやな部分をなくすことができます。

テスト直前に、〔復習〕〔総チェック〕をやっておけば、効果的な学習ができ、カンペキとなります。

③ 定期試験1～2週間前から勉強を始める場合

定期試験の範囲の学習は、10時間程度で終了することができるはず。得意な教科は数時間で終わることができますが、やはり、試験2週間前から始めれば、余裕をもって勉強することができます。

④ 1年間の復習で使用する場合

総チェック（保証テスト）に、最初から最後までとりくみ、学習内容をチェックしておこう。まちがえた問題が多い単元は、基本に戻って学習しておく必要があります。



書かずに覚える中学校939漢字

●標準学習時間……20～40時間

中学校で学ぶ漢字を、正解を選ぶ選択式学習で一気にマスター。ゲーム感覚で頭に定着させることができます。

★漢字の読みをローマ字入力で答え、正しい漢字を選択項目から選んで答える方式です。キーボードで入力したり、カーソルで選択したりするうちに、漢字が自然と記憶に残り、楽しく覚えることができます。

★ノングレード型のソフトですから、自分のレベルにあったところからスタートできます。難しいと感じたら、1つ前のクラスにもどって学習することもできます。



計算力ぐんぐんアップ—中学校編—

●標準学習時間……14～18時間

数学の成績に直結する計算力のレベルがぐんぐんアップします。

中学1年から3年までの計算に関する項目だけを学習できます。

★数学が苦手な生徒は、計算力アップだけで成績がぐんとアップ。

★どこからでも学習できるから、つまずきを短期間に克服。

苦手になるきっかけとなった「つまずき箇所」から、学習を始めることで、だれでも学習回復が可能です。

★夏休みなどの集中学習にも効果的。

計算力を身につけるために、短期間に集中して学習するのも効果的な学習方法の1つです。

§ 1 正負の数

§ 2 文字式を使った式

§ 3 文字式の計算

§ 4 1次方程式

§ 5 多項式の計算

§ 6 単項式の乗除

§ 7 連立方程式

§ 8 多項式の乗除

§ 9 因数分解

§ 10 平方根

§ 11 2次方程式

英語〔成績保証〕 〔基本速習〕 Ab de 〔教科書対応英単語 VOCAKING〕

- ・習熟学習……初めて学習する人のために。時間のある人、苦手な方はここから始めよう！
- ・TLT学習……すでに学習を終えている人向き。テストをやって、不得意部分をトレーニングしよう！
- ・総チェック……試験前の最終チェックや時間がないときに。くり返し学習して確実に覚えよう！

●1年分の標準学習時間……各50～60時間(英単語VOCAKINGを除く)

教科書ごとにソフトが用意されており、教科書の1ページ単位で「単語・熟語」「アクセント・発音・語形変化」「表現」「文法」を徹底 Learning していく内容になっています。1/3Lessonくらいの単位で「TLT学習」が用意され

ているので、学習内容を短時間でチェックして、弱点補強をすることができます。

単語や熟語には音声録音されており、ネイティブの発音を聞くことができます。

★ソフトの選択基準

定期試験対策、短期での総復習で、単語にしばらく学習したい方には「教科書対応英単語VOCAKING」

- ・短時間で学習をおえたい場合 → 〔基本速習〕
- ・英語が苦手な場合 → 〔基本速習〕
- ・予習や先取り学習をする場合 → 〔成績保証〕または〔基本速習〕
- ・英語が得意な場合 → 〔成績保証〕
- ・90点以上をねらう場合 → 〔成績保証〕

数学〔成績保証〕



- ・学習……教科書の説明文を理解できます。学習の進度にあわせて、じっくり取り組んでいきましょう。
- ・保証テスト……ここを確実に解ければ、テストで高得点をとれます。つまずいた場合は「学習」にもどってください。

●1年分の標準学習時間……各50～60時間

学校の授業にあわせて「学習」を項目順にクリアし、定期試験前に「保証テスト」で、弱点をつぶすのが一番

理想的な学習方法ですが、数学に自信のある人は「学習」とばして「保証テスト」から学習してもかまいません。

理科〔成績保証〕



- ・初回Testing……できない箇所を見つけ、トレーニングをつむ。
- ・完成ステップ……初回Testingでのトレーニングの効果を判定し、できない箇所はさらにトレーニングをつみ、完成に導く。
- ・総チェック……学習の成果を試す合格判定テスト。
- ・プリント……漢字の書きのトレーニング。

●1年分の標準学習時間……各40～50時間

中学理科ソフトでは、教科書の重要事項やよく出る問題をピックアップして、「教科書を完全に理解し、覚えたことを知識にかえて定着させる」ことに焦点をあわせています。

『初回Testing』『完成ステップ』『総チェック』の3つに分かれています。『初回Testing』でできない項目を発見し、習熟Trainingでトレーニングをつみます。『完成ス

テップ』では、『初回Testing』でまちがえた問題のみ、完全に覚えられるまでトレーニングをつみます。

『総チェック』では、その単元を完全に覚えられたかどうかチェックします。重要用語を覚えても、漢字で書けないと満点をとれないこともあります。最後は『プリント』を印刷して、漢字で答えて仕上げよう。

社会〔成績保証〕



- ・初回Testing……できない箇所を見つけ、トレーニングをつむ。
- ・完成ステップ……初回Testingでのトレーニングの効果を判定し、できない箇所はさらにトレーニングをつみ、完成に導く。
- ・総チェック……学習の成果を試す合格判定テスト。
- ・プリント……漢字の書きのトレーニング。

●1年分の標準学習時間……各40～50時間

暗記が中心の社会では、教科書やノートを何度も見て、しっかり勉強していても、テストが終わってみると「覚えたつもりだったのに、できなかった…」ということがよくあります。中学社会ソフトでは、うる覚えを許さず、完全に頭に定着させるのを目標としています。

『初回Testing』『完成ステップ』『総チェック』の3つに分かれています。『初回Testing』でできない項目を発

見し、習熟Trainingでトレーニングをつみます。『完成ステップ』では、『初回Testing』でまちがえた問題のみ、完全に覚えられるまでトレーニングをつみます。

『総チェック』では、その単元を完全に覚えられたかどうかチェックします。重要用語を覚えても、漢字で書けないと満点をとれないこともあります。最後は『プリント』を印刷して、漢字で答えて仕上げよう。

高校受験

短時間での合格ライン達成が可能

4つのポイントにより、短時間に最大の効果があげられます。

1. 出題されやすい問題パターンのみ、厳選しました

過去の入試問題を徹底分析し、出題されやすい項目にしばって学習できます。

どの教科でも、よく出題される項目は限られています。実戦的な問題までふくめても、1、2か月もあれば十分です。

2. 中1の基礎問題から中3の実戦問題まで、ステップをふんで学習できます

中1の復習から順を追って、無理なく学習できます。中2生なら、中1、2の範囲だけ学習することもできます。

3. 弱点補強ができます

効率的な学習をするためには、弱点にポイントをしばった学習が大切です。

まちがえた問題の学習内容は、完全に理解できるまで何度も出題し、チェックしますから、弱点を残しません。

入試直前に、一度まちがえた問題だけを見直すこともできます。

4. 学習の進度が記録されています

学習進度・到達度が記録されていて、印刷することができます。

受験までのスケジュールを自分で組み、管理することができます。

★こんな使い方ができます

① 入試3か月以上前から勉強を始める場合（この方法がおすすめ！）

最初から順に問題を解いていこう。ステップをふんで学習できます。

1教科の学習は1、2か月で終わりますが、5教科学習するためには、早い時期から学習を始める必要があります。余裕があるときは、Xs Winの『高校受験 実戦編』に取り組み、総仕上げを行うのもいいでしょう。

② 入試1、2か月前から勉強を始める場合

1教科のみ仕上げるのなら、まだまだ時間は十分あります。最初からじっくり時間をかけて学習しておこう。

何教科も学習するのなら、時間を有効に使わないとけません。英語なら『習熟学習』をとばして『TLT学習』から入るというように、弱点をみつけ、そこにポイントをおいた学習をしよう。

③ 入試まで1か月を切った場合

まだまだ超効率のよい学習方法をとれば、だいじょうぶです。例えば数学なら『総チェック』から学習に入り、まちがえた単元だけ、通常の学習に入るといった方法をとります。

④ 中1、2生が、受験にむけて学習する場合

中1、2の学習内容を選択して、すでに学習した範囲を復習しておこう。詳しい説明、解説が入っているので、得意科目なら、先取り学習に使うのも十分可能です。

⑤ 定期試験対策に使う場合

教科書以外からたくさん定期試験に出題される場合は、高校受験ソフトが最適です。教科書、授業を一步こえた問題にとりくむことによって、実戦力を身につけることができます。

高校受験 スーパーチェック 理科・社会

・理科1分野…16項目(248Testing)
・社会 地理…15項目(258Testing)
・社会 公民…14項目(195Testing)

・理科2分野…14項目(223Testing)
・社会 歴史…14項目(294Testing)

●標準学習時間……20～30時間

高校受験理科・社会の学習は、英語・数学・国語にくらべ、十分とはいえない方が多いようです。

また、理科・社会は3年間の積み上げではないので、中3の学習は理解できても、中1の内容はまったく忘れていたといったことがあります。

そのような方も、無理なく学習できる構成なので、だれもが短

期間に、高校受験の全範囲を復習することができます。

もちろん、理科・社会の学習が進んでいなくて、短期間に復習したい方にも最適です。

『高校受験スーパーチェック理科・社会』の学習を終えたら、『高校受験理科』『高校受験社会』のTLTソフトにも挑戦してください。さらに、高得点をねえます。

理科 解説Testing(261)とチェックTesting(210)から構成しています。理科では、学習事項のまとまりごとに考え方や知識をまとめたほうが理解しやすいです。まず、解説Testingで学習内容を完全に理解し、チェックTestingで問題にとりくむと、理科に自信のない方でも、無理なくステップをふんで学習できます。

理科に自信がある場合は、チェックTestingで解けなかった項目だけ解説Testingに取りくんでもいいです。

社会 チェックTesting(747)のみで構成しています。社会では、まず個々の知識をしっかりと頭に入れることが重要なので、チェックTestingを単問にて徹底して学習します。

試験によく出題される要点のみをチェックできるので、効果的な学習が可能です。

英語



- ・基礎編（中1、中2の復習）－基礎固め－ 15回（62項目）
- ・完成編（中3）－中3の学習と3年間の総仕上げ－ 15回（61項目）
- ・入試問題編－長文問題もふくめ、最近の入試問題を網羅－ 15回（65項目）

●標準学習時間.....35～45時間

VOCABINGシリーズの単語・熟語とあわせて使用すれば、英語の入試対策は万全です。

『基礎編』『完成編』『入試問題編』の3つに分かれていて、それぞれ「習熟学習」「TLT学習」「総チェック」が用意されています。時間がある方、苦手な方、初めて学習する方は順にやっていくのがベストです。ある程度の学習を終えている方は、

「TLT学習」から入っていてもいいです。

入試直前には「総チェック」で、忘れた所がないかどうか、確認しておこう。

必要に応じて「コメント」「ヒント」「用語解説」が出てくるので、最も効率的な学習ができます。

★習熟学習.....初めて学習する单元でも、ステップをふんで学習できます。じっくり基本から学習したいときや、英語が苦手な場合はここから始めよう！

★TLT学習.....すでにその单元の学習を終えている場合や、英語が得意なら、ここから始めよう！

★総チェック.....試験前の最終チェックや時間がないときに。

数学



- ・中1・中2 数量編－基礎固め－ 10回（62項目）
- ・中1・中2 図形編－基礎固め－ 6回（49項目）
- ・中3 数量編－中3の学習と3年間の総仕上げ－ 10回（82項目）
- ・中3 図形編－中3の学習と3年間の総仕上げ－ 8回（71項目）

●標準学習時間.....35～50時間

『中1・中2の復習 数量編』『中1・中2の復習 図形編』『中3の学習 数量編』『中3の学習 図形編』の4つに分かれています。それぞれに「初回Testing」「復習Testing」「総チェック」が用意されています。

「初回Testing」から学習を始めて、時間がたっ

てから「復習Testing」で弱点を復習するのがベストな学習方法です。

時間がまったくない場合は「総チェック」から入って、弱点を見つけ、苦手な单元のみじっくり学習することもできます。

★初回Testing.....できなかった箇所を見つけ、トレーニングをつむことができます。

★復習Testing.....初回Testingでのトレーニングの効果を判定し、できない箇所はさらにトレーニングをつみ、完成に導きます。

★総チェック.....学習の成果を試す修了判定テスト。

理科



- ・化学編..... 8回（68項目）
- ・物理編..... 11回（76項目）
- ・生物編..... 13回（78項目）
- ・地学編..... 12回（75項目）

●標準学習時間.....35～45時間

『化学編』『物理編』『生物編』『地学編』の4つに分かれています。それぞれの編は中1の学習内容から中3の学習内容まで順に用意されているから、すでに学習した範囲だけを選んで学習することもできます。

それぞれの項目に「初回Testing」「復習Testing」「総チェック」が用意されています。

「初回Testing」から学習を始めて、時間がたっ
てから「復習Testing」で弱点を復習するのがベストな学習方法です。

時間がまったくない場合は「総チェック」から入って、弱点を見つけ、苦手な单元のみじっくり学習することもできます。

★初回Testing.....できなかった箇所を見つけ、トレーニングをつむことができます。

★復習Testing.....初回Testingでのトレーニングの効果を判定し、できない箇所はさらにトレーニングをつみ、完成に導きます。

★総チェック.....学習の成果を試す修了判定テスト。

国語 漢字 読書

・漢字編……………16回(400項目)・文法・言語編……………15回(213項目)
●標準学習時間……………10～15時間(1回の学習は20～30分程度です)

入試の7割は読解問題が出題されています。当然ここを避けては通れません。しかし、合否の差がつくのは、意外なことにそれ以外の3割です。

このソフトでは、短期間で得点アップをねらい『漢字編』『文法・言語編』の2つを用意しました。それぞれに「初回Testing」「完成Testing」「総チェック」が用意されています。書かないと安心できない方のために、漢字の書き取りや言語事項のまとめのプリントも用意しました。

「初回Testing」から学習を始めて、時間がたつてから「完成Testing」で弱点を復習するのがベストな学習方法です。

「総チェック」では、その単元を完全に覚えられたかどうか、チェックします。重要用語を覚えても、漢字で書けないと満点をとれないこともあります。最後は「プリント」を印刷して、漢字で答えて仕上げましょう。

時間がまったくない場合は「総チェック」から入って、弱点を見つけ、苦手な単元のみじっくり学習することもできます。

短時間でマスター可能だから、全部クリアするのが目標です。漢字、口語文法は、入試によく出る頻度順に並んでいます。

- ★初回Testing……………できなかった箇所を見つけ、トレーニングをつむことができます。
★完成Testing……………初回Testingでのトレーニングの効果を判定し、できない箇所はさらにトレーニングをつみ、完成に導きます。
★総チェック……………学習の成果を試す修了判定テスト。 ★プリント……………漢字の書きのトレーニング。

ボキャキング VOCAKING シリーズ

最初にTestingで知っているかどうかのチェックをし、まちがえた部分はLearningでじっくり、基礎から学習します。

Trainingでは、忘却曲線にそって、忘れそうな時点に何度もチェックすることによって、完全に覚えることができます。

VOCAKINGシリーズは、TLT学習に手をくわえ、語彙をふやすために開発された学習法です。

なお、『高校受験標準1000単語』『高校受験難関600単語』は、ネイティブスピーカーによる吹き込みも聞けるので、ヒアリング対策も万全です。



高校受験標準1000単語

●標準学習時間……………10～20時間

公立高校入試に必要な英単語1000を厳選して収録しており、短期間にマスターすることが可能です。意味だけでなく、使い方、関連語などについても詳しい説明が入っています。すべてマスターすれば、入試で知らない単語がほとんどなくなります。半分程度マスターしただけでも十分効果があります。

頻度順にならべてあるので、学習途中で終わっても安心です。



高校受験難関 600単語

●標準学習時間……………10～20時間

『高校受験標準1000単語』の続編で、難関私立・国立高校受験用のソフトです。難関高校の入試対策として必須の600単語を頻度順に学習できます。

公立高校1年生レベルの単語も多数ふくんでいますので、高校入学後の先取り学習として高校入学直前の春休みに学習していただくのも効果的です。

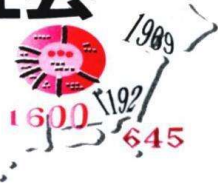


高校受験 300熟語

●標準学習時間……………10～20時間

be filled with～, take part in～など、高校入試に必要な英熟語300を厳選しています。『高校受験標準1000単語』とあわせて学習すれば、入試の語彙対策はカンペキとなります。慣用的な表現が自然に身につきますので、英作文が苦手な方にもお勧めのソフトです。

社会



- ・世界地理編……12回 (32項目)
- ・日本地理編……11回 (29項目)
- ・歴史編……27回 (93項目)
- ・公民編……18回 (63項目)

●標準学習時間……35～45時間

「初回Testing」「完成Testing」「総チェック」の3つに分かれています。「初回Testing」でできない項目を発見し、習熟Trainingでトレーニングをつみます。「完成Testing」では、「初回Testing」でまちがえた問題のみ、完全に覚えられまでトレーニングをつみます。

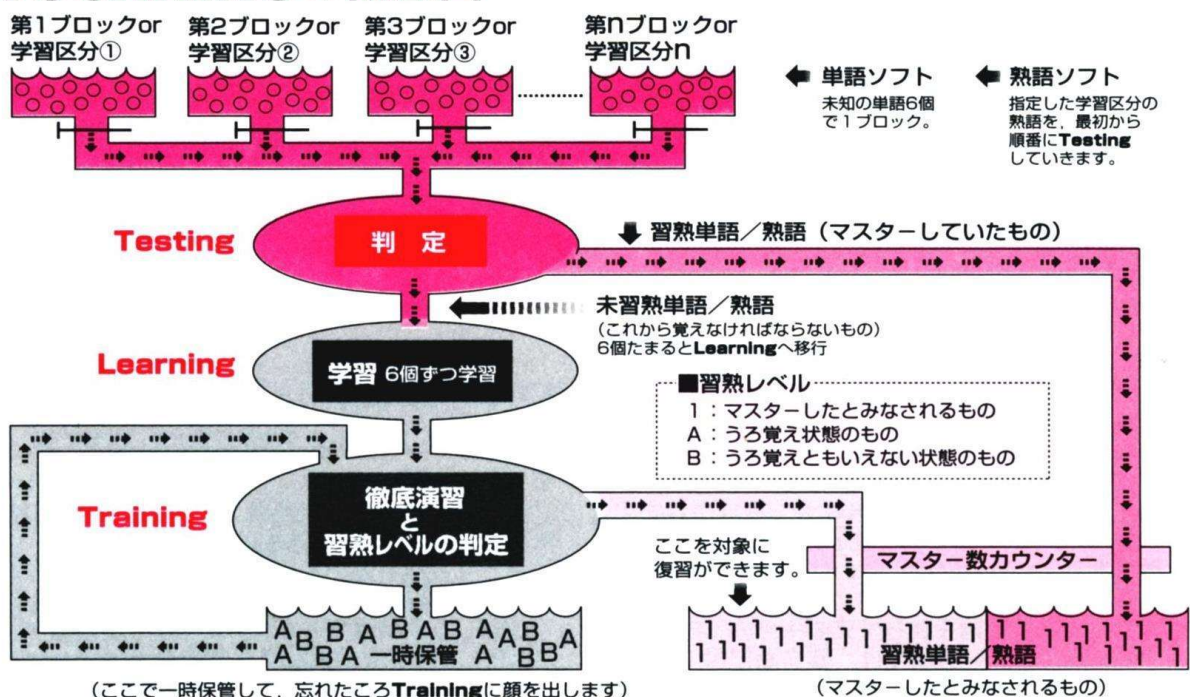
「初回Testing」から学習を始めて、時間がたってから「完成Testing」で弱点を復習するのがベストな学習方法です。

時間がまったくない場合は「総チェック」から入って、弱点を見つけ、苦手な単元のみじっくり学習することもできます。

- ★初回Testing……できなかった箇所を見つけ、トレーニングをつむことができます。
- ★完成Testing……初回Testingでのトレーニングの効果を判定し、できない箇所はさらにトレーニングをつみ、完成に導きます。
- ★総チェック……学習の成果を試す修了判定テスト。

- ★初回……試験によく出る重要な単語、熟語を1つ1つ順番にTestingし、できなかった問題だけをLearning、Trainingと集中して練習します。
- ★復習1……「初回」のTestingでまちがえた単語（熟語）だけを対象に、再び、Testingします。まちがえるとTrainingで、再記憶させます。
- ★復習2……「復習1」のTestingでまちがえた単語（熟語）だけを対象に、Testingで再々度学習します。一度まちがえた単語（熟語）は、再びまちがえる可能性があるので、少し時間をおいてから、再度復習してください。
- ★総チェック……全単語を対象に、Testingにより、知っているかどうかのチェックを行えます。何度でも総チェックが可能ですから、入試まで期間がある時は何度も挑戦してみよう！

VOCAKINGの概念図



高校生

高校教科書習熟，基礎力充実

高校生の基礎力養成のためのソフトです。
この分野の学習が終わったら，高1，2生も，大学受験に向けて，大学受験シリーズの学習に入ってください。

数学Ⅰ 数学A



- ★数学Ⅰ……4章（基本…249項目，標準…215項目）
- ★数学A……3章（基本…155項目，標準…118項目）
- 標準学習時間……50～80時間

教科書レベルの問題からセンター試験レベルの問題まで，幅広く学習できるソフトです。

Testingで知っているかどうかの確認をし，まちがえた問題はLearningで学習し，Trainingで練習をつむ学習の流れは，他のソフトと同じですが，難しい学習内容については，TrainingをA，Bの2ステップ用意し，スムーズに学習できるようになっています。

さらに，1つの章は，「基本」と「標準」に分かれていて，それぞれ確認のためのテストが用意されているから，予習，復習，テスト対策と，必要に応じて使い分けることができます。

もちろん，他のソフトと同じように，まちがえた部分だけを後で復習する「復習Testing」と全体をチェックする「総チェック」の機能もついています。

- ★基本 ……教科書の説明が自然に理解できます。やさしく説明されているから，予習に最適です。
- ★テスト（基本用） ……基本レベルの問題をチェックできます。数学に自信のある場合はここから始めてもいいです。テスト前等，短期間で学習するときは，「テスト」から始めて，まちがえた部分だけ「基本」に戻るのが効果的です。
- ★標準 ……教科書の章末問題レベルや，やや上の入試問題レベルの学習ができます。解くのが難しい場合は，「基本」に戻ってから再度学習してください。
- ★テスト（標準用） ……最終目標とするテストです。ここまでできれば，自信をもってまだいじょうぶです。

高校基礎1000単語



- 標準学習時間……10～20時間

VOCABLINGシリーズ（10ページ参照）の高校1，2年生用です。高校英語Ⅰ・Ⅱの主要教科書に出てくる単語を，入試に出題されやすい頻度順に収録してあります。短時間に，授業，入試に必要

な英単語をマスターすることができます。

1000単語をマスターしたら，大学入試に向けて，高3になる前に『大学受験重要1100単語』の学習をスタートさせてください。

Step-up 高校英文法



- 標準学習時間……30～40時間

実際の入試問題に類出する文法の「複合問題」に備えて，文法事項をできるだけ小単位の「ユニット」に切りだし，ポイントを絞って作成したオリジナル問題で構成されています。

「基礎編」「高1編」「高2編」の3つの学習段階を想定して，難易度別に収録してありますから，基礎から複雑な文法項目へ，無理なくステップアップできます。

わかる高校英語構文 （基本編）



- 標準学習時間……15～25時間

構文とは，文の構造のことです。英語の文は主に，主語・動詞・目的語・補語の4つの要素から構成されます。1つ1つの文について，これらの要素がどうなっているのかを理解できるということは，いわばその文の骨格が把握できているということです。

日本語のように，助詞を使って文の中でのことばの働きを表すことができない英語では，構文が把握できていなければ，たとえ文法や単語を知っていても思わぬ誤り

をしがちです。

このように大切な英語構文が，高1レベルの基礎から無理なく身につけられます。

また『習熟学習』から学習を始めることができ，解説もていねいなので，まだ学習していない項目も，無理なく，じっくり学習できます。ですから，英語の得意な中3生から，大学受験にむけて英語の基礎固めにとりくみたい，高2，3生までお使いいただけます。

大学受験

短時間での合格ライン達成が可能



大学受験重要1100単語

●標準学習時間……10～40時間

VOCAKINGシリーズ（10ページ参照）のベストセラー。10万人ちかくの先輩が取り組み、英語の得点アップを実現し、合格を勝ちえました。

単語だけ覚えたって、読解力がなければ、得点アップは期待できないと考えていませんか。

英語の文法問題、長文問題でいちばんの基礎となるのが単語力です。「あの単語さえ知っていれば…」という経験はだれにでもあるでしょう。

このソフトは、過去の入試問題データをもとに、大学入試に必要な英単語を厳選して収録してあります。難関大学以外は、このうち600単語を習熟していれば合格ラインに達します。単語力が充実すれば、英語の読解力も急カーブでのびていきます。裏表紙の図のように忘却曲線に従って、記憶の定着をはかっているの、早い時期に覚えても、入試まで忘れません。

単語例

●頻度1(1～100)

☐ experience

☐ prevent

☐ circumstance

☐ literature

●頻度11(1000～1100)

☐ splendid

☐ arrogant

☐ frail ☐ testimony



大学受験重要1000熟語

●標準学習時間……10～20時間

VOCAKINGシリーズ（10ページ参照）の2番人気のソフト。このソフトには、基礎的な熟語から難関大学の入試に出題される難しい熟語までが網羅されています。大学入試の頻度順に収録されているから、短期間に効率的な学習が可能です。高校受験レベルの300熟語プラス400熟語の計700熟語をマスターできれば、センター試験対策は万全です。

学習 スケジュール

大学受験では、受験する大学・学部によって学習すべき内容は大きく変わってきます。なるべく早い時期に志望校を決定し、もっとも効果的なスケジュールを選択すべきです。それぞれの学習スケジュールは、先生、質問コーナー等に相談して決定するのがいいのですが、志望者の多い、早・慶・上智・関学・同志社等の難関私立大・文系受験をめざしたベスト学習スケジュールを紹介します。

	高1・2	4月	5月
英語	【高校基礎1000単語】 10日（10～20時間） 【大学受験重要1000熟語】 前半・5日（5～10時間）	【大学受験重要1100単語】 15日（10～40時間）	【大学受験重要1000熟語】 後半・5日（5～10時間）
社会 国語			【世界史or日本史】 前半・15日（15～40時間）
学習目標	難関大学を志望するのなら、高1から受験勉強をスタートしなければならない。 最低でも、高1、2の学習内容である『高校基礎1000単語』と『大学受験重要1000熟語』の前半は、完全にマスターし、何度も復習し、頭にたたきこんでおこう。	英語の基礎でかつ非常に大切なのが英単語。単語力がカンペキになれば、自然と読解力もつきます。 早いうちに難関大学入試に必要な十分な1100単語をマスターしておこう。	英語で、単語の次に大切なのは熟語です。後半を仕上げ、前半も復習しておこう。 受験科目にあわせて、世界史か日本史の学習もスタートしておこう。



大学受験現国語彙

●標準学習時間……15～25時間

大学入試の現代国語長文問題には、例えば「概念」「主観」「アナロジー」「パースペクティブ」「逸脱」「乖離」等といった抽象語彙が頻出します。これらの単語に対する理解があるのとないのとでは、全体の読解に大きな差ができてしまいます。単語の意味がつかないめいと、文脈を追うこと自体、不可能となってしまうことも多いのです。

このソフトでは、入試長文に頻出する抽象語、観念語、専門語を完全網羅（520語収録）しており、受験直前対策として集中的に取り組むと効果バツグンです。現代文学習に十分に時間をさけない受験生にとって強い味方です。



大学受験古典単語

●標準学習時間……15～25時間

単語を品詞別に18単元に分けて、大学受験に必要とされる630語を収録してあります。本格的な古典学習に欠かせない単語を網羅してありますから、古典学習や受験勉強を始める前の基礎固めとして、また受験直前の総チェックとして最適のソフトです。



大学受験古典文法

●標準学習時間……15～25時間

大学受験に必要な古典文法事項を37単元収録してあります。特に学習のポイントとなる「助動詞」には全体の5割強の20単元をあてています。ほかにも「助詞・敬語・まぎらわしい語の品詞識別」を重点的に学習できるように構成されています。

大学受験勉強に最適ですが、高1・2生の授業の予習・復習用にも使えます。



大学受験漢字・文学史

●標準学習時間……30～45時間

漢字編では、「読みの習熟」に力点をおいて、入試問題に頻出する漢字を短期間で徹底攻略するとともに、センター試験等に頻出する『同音異義語』の選択問題にも対応できる力を養えます。

文学史編では、『上代』『中古』『中世』『近世』『近現代』の5つの時代区分に構成されていますから、どこからでも効率よく学習することができます。「基礎チェック」で、入試に必要なポイントを網羅的に徹底学習し、「実戦演習」で、過去問に数多くあたることで知識の定着をはかります。

	6月	7月	8月
英語	【大学受験重要1100単語】 復習	【センター対策英語】 15日（10～20時間）	全ソフトの総チェック
社会	【世界史or日本史】 前半復習	【世界史or日本史】 復習 後半・20日（20～50時間）	
国語	【古典単語】 15日（15～25時間）	【古典単語】 復習	【古典文法】 15日（15～25時間）
学習目標	国語の場合、古典単語を、夏休みに入る前にカンペキにしておこう。	1学期の定期試験が終了したら、毎日受験勉強に取り組むようにしよう。 英語と社会をひと通り学習しておけば、残りの受験勉強を余裕をもって進められます。	英語と社会の学習はひと通り終了しているので、再度復習し、確実に理解しておこう。 英語、社会、国語のほかにも受験科目がある場合は、夏休みのうちにしっかり学習しておこう。



大学受験生物ⅠB, 化学ⅠB, 地学ⅠB ●標準学習時間……各30～45時間

『大学受験生物ⅠB』は全40単元, Testing は 675題, 『大学受験化学ⅠB』は全47単元, Testing は 757題, 『大学受験地学ⅠB』は全41単元, Testing は 481題の構成となり, 大学入試に必要な学習事項を総チェックできます。

各ソフトを終了後に, 志望校の過去問(5年分)に挑戦しておけば, 入試対策は万全です。



大学受験日本史, 世界史 レベル★ ●標準学習時間……各30～80時間

大学入試に必要な項目(日本史…42単元, 世界史…66単元)を一気に攻略するためのソフトです。用語チェックのプリントも取り出せるので, 重要用語の漢字も確実に覚えることができます。

早慶などの超難関大学以外を受験する方は, 合格点確保のための知識は十分習得できますから, 後は過去問で総仕上げをしておけば, だいじょうぶです。



大学受験難関日本史, 世界史 レベル★★★ ●標準学習時間……各20～40時間 (レベル★学習後の学習時間)

このソフトは, 早稲田・慶応・上智・同志社・関西学院などの超難関大学を目指す方のためのソフトです。難関校を中心とした過去問を収録し, 短期間での学習が可能です。

国公立大2次試験でも, 社会で大幅な得点アップをねらう方は, ここまでマスターする必要があります。

標準版マスター者を対象とした構成になっています。難関編では, 日本史でさらに35単元, 世界史でさらに47単元学習します。



9月	10月	11,12月
《Xs Win大学受験英語》	《Xs Win大学受験英語》	全ソフトの総復習
【センター対策世界史or日本史or現代社会】 20日(20～30時間)	【難関世界史or日本史】 20日(20～40時間)	全ソフトの総復習
【古典文法】 復習	【現国語彙】 15日(10～25時間) 【漢字・文学史】 20日(30～45時間)	《Xs Win大学受験現代文,古文》 古典単語,古文攻略センター試験対応
英語は総仕上げに入ります。 『Xs Win大学受験英語』か問題集 を使って読解力の総仕上げをしておこう。 社会はもうひと頑張りです。センター試験を受験しなくて, かつ難関大学を受験する場合は『センター対策社会』をとばして『難関社会』に入ってもいいです。	難関大学を受験しない場合や2次試験で社会の受験科目がないときは, 過去問で総仕上げをしておこう。 点数アップが難しい現代国語で, 短期の得点アップを可能とするのが『現国語彙』です。『現国語彙』を学習しつつ, 新聞の時評や社説を読むように心がけよう。	重要事項の学習はカンペキです。後は, 過去問に挑戦し, 出題の傾向をつかんでおきましょう。 ここまで頑張ったのだから, 模試でもA判定, 悪くともB判定がでているはず。自信をもって試験にのぞんでください。

センター対策

ますます重要性が高まる センター試験を強力にバックアップ

センター試験を利用する私立大学は、年々増えており、この傾向は今後ますます強まり、国公立大学だけでなく、多くの私立大学においても、センター試験のしめるウエートが高まることが予想されます。

『センター対策シリーズ』は、攻略するのに時間がかかる英語、理科、社会の科目で、短時間に高得点をマークできるように編集されています。



センター対策英単語セレクト750

●標準学習時間……8～16時間

10万人ちかくの先輩が学習した『大学受験重要1100単語』の姉妹品。過去のセンター試験長文問題を分析し、よく出題される英単語を750選びました。

難関大学を受験し、2次試験に英語がふくまれる場合は『大学受験重要1100単語』を学習する必要があります。英語がセンター試験のみの方、難関大学以外を受験される方は、このソフトをマスターすれば十分です。英語の文法問題、長文問題でいちばんの基礎となる750単語を覚えれば、自然と文法力、読解力も身につけることができます。



センター対策英語

●標準学習時間……20～30時間

英語のセンター試験は、例年出題形式がほぼ一定です。このソフトでは、長文読解問題以外の問題に対して徹底的に演習します。一つの学習区分は、Testing→完全記憶Training→総チェックの流れで進みます。まだ出題されていないが、今後出題が予想される問題も補っています。

特に重要な文法・語法問題ではこのソフト一つで基本から発展まで、そのテーマが体系的に理解できるようになっています。



センター対策数学Ⅰ・数学A

●標準学習時間……30～40時間

数学Ⅰ・数学A（平面幾何・コンピューターを除く）で過去に出題された問題を分析、出題頻度の多い重要問題を中心に単元を構成しています。

各単元は、センター試験に必要な知識の習得を目的とした§（セクション）部分とよく出題される特徴のある問題を中心とした「実戦テスト」の二部構成です。



センター対策生物ⅠB, 化学ⅠB

●標準学習時間……各20～30時間

「生物」では、知識を基礎とする実験考察問題が増加する傾向があります。そのため、①知識をしっかりと整理し覚えこんでおくこと、②実験考察問題に慣れることが重要です。〈基本編〉で知識問題を中心に上げ、〈考察編〉で実験考察問題に取り組みます。

「化学」では、個々の知識を実際の問題の中で、単元別にTesting→Trainingしていきます。もちろん過去に出題されていない項目でも、出題可能性のある項目も補強し万全を期します。



センター対策日本史,世界史,現代社会

●標準学習時間……各20～30時間

世界史・日本史・現代社会とも学習項目ごとに必要事項を完全に解けるように、瞬時に反応できるようにすることが絶対不可欠です。過去問などの出題の傾向をきっちりつかみ、オリジナル問題で必要な学習を行います。

（歴史の二つのソフトは、世界史B、日本史Bに対応しています。）



古典単語,古文攻略 センター試験対応

●標準学習時間……各20～30時間

「古典単語」の見出し語は約200語。受験で差のつく重要語を精選し、頻度順に学習します（全体が24のセクションからなり、24セクションは頻度順にA～Dの4グループに分類されています）。

Testing やTrainingの2問目は例文による問題です。口語訳つきなので、見出し語以外の古語も自然と身につくようになっています。

「古文攻略」は、文語文法・古典単語・敬語などの古文全般の学習です。過去のセンター試験を分析し、過去に出題された問題や今後出題が予想される問題なども数多く取り上げています。

英検・漢検

英検・漢検合格に必須の力が、
短時間で身につく革命的ソフト

●英検とは

実用英語技能検定（英検）は昭和36年、社会教育審議会が文部大臣に対し、社会教育拡充方策の一環として「青少年および成人に学習目標を与え、意欲を高める意味で技能検定が必要である」旨の答申をしたことに始まります。受験者は年々増えつづけ、約350万人を超えています。

高校・大学入試の際に、英検資格を優遇する学校も年々増えています。優遇の方法としては、出願条件とする場合、出願優遇（学業成績の不足をカバー）する場合、学科試験免除をする場合、点数加算する場合、判定優遇する場合とがあります。例えば、関東地区の大学を例にとると、上智大学、中央大学、津田塾大学、日本大学、明治大学、早稲田大学等で推薦入試の際に出願条件等としています。

各級のレベルですが、5級が中学1年生終了レベル、4級が中学2年生終了レベル、3級が中学3年生終了レベル、準2級が高校2年生終了レベル、2級が高校3年生終了レベル、準1級が大学2年生終了レベル、1級が大学卒業レベルとなっています。

全級の平均合格率は約50%ですが、一般にレベルが高い級ほど合格率は低くなっています。



成績保証『英検3級』
成績保証『英検4級』
成績保証『英検5級』

●標準学習時間…3級, 4級 各10～20時間
5級 10～15時間

1. 英検合格に必要な知識が一気に身につきます

通常のTLT学習のほかに、Vocakingソフト、リスニングCD、試験問題と、合格のために必要な学習が網羅されています。

通常のTLT部分は「文法」「熟語・表現」のチェック、「筆記試験」からなり、基礎レベルから試験レベルまでステップアップできます。過去問も3年分用意しているので、本番さながらの試験で総仕上げが可能です。

Vocakingソフトは、過去の試験問題をコンピュータ分析し、使用頻度を徹底分析して、3級は600単語、4級は500単語、5級は

400単語を抽出しました。

2. リスニングCD、過去の試験問題がついています

リスニングCDと試験問題では、実際に行われた試験問題を忠実に再現しました。

リスニングCDは、NHKラジオ講座などで経験豊富な2人の外国人に吹き込みをお願いしています。

英文が美しい発音で読み上げられています。英検対策以外にも、耳の敏感な小中学生が聞けば、リスニング力、発音の上達に結びつきます。

成績保証『英検3級』

- ・文法のチェック 19項目
- ・熟語・表現のチェック 13項目
- ・第1回筆記試験 45項目
- ・第2回筆記試験 45項目
- ・第3回筆記試験 45項目
- ・Vocaking英検3級重要600単語

成績保証『英検4級』

- ・文法のチェック 19項目
- ・熟語・表現のチェック 13項目
- ・第1回筆記試験 45項目
- ・第2回筆記試験 45項目
- ・第3回筆記試験 45項目
- ・Vocaking英検4級重要500単語

成績保証『英検5級』

- ・文法のチェック 15項目
- ・熟語・表現のチェック 10項目
- ・第1回筆記試験 30項目
- ・第2回筆記試験 30項目
- ・第3回筆記試験 30項目
- ・Vocaking英検5級重要400単語

●漢検とは

漢検とは文部科学省で認定された技能検定です。平成4年に文部省認定の資格となり、年をおうごとに志望者数が増加し、年間130万人を超えています。

1997年6月の文部省中央教育審議会の答申により、入学試験に関して従来の学力試験偏重を改め、選抜方法、尺度の多様化が提言されて以来、資格・検定取得をはじめとする、課外活動の実績も評価しようという、アドミッションオフィス（AO）入試や自己推薦入試が増加しています。例えば、関東地区の大学を例にとると、筑波大学、早稲田大学、慶応義塾大学、立教大学、中央大学等で、推薦入試等の際に、出願条件となったり合否判定の際に考慮されています。一部の大学では、漢検の資格を取得していると入試の得点に点数加算される場合もあります。

各級のレベルですが、7級が小学4年生終了、6級が小学5年生終了、5級が小学6年生終了、4級が中学1年生終了、3級が中学2年生終了、準2級が中学3年生終了相当となっています。全級の平均合格率は40数%ですが、一般にレベルが高い級ほど合格率は低くなっています。



成績保証
『漢字検定3級～7級』

●標準学習時間……各20～30時間

1. 「漢検」に必要な漢字の知識を一気に覚えてしまおう

漢検に出題される読み書きをはじめ、同音同訓異字、類義語・対義語、四字熟語、部首・画数などの学習内容を、短時間で学べます。

TLT「漢字検定」ソフトなら、むだな時間をかけずに極めて効率に、漢検に必要な学習内容をマスターできます。

2. 何と書かずに覚えられます。印刷も可能

実際の漢検の解答用紙はマークシート形式。このことからわかるように、半分以上は選択形式の問題です。

TLT「漢字検定」ソフトは、カーソルで正解を選ぶ「選択式学習」になっています。だから、まるでゲームをしている気分。楽しんで

力のつくソフトです。

また、書き取り問題対策として、書き問題は印刷して学習できます。

3. わずか1か月でマスター可能

TLT「漢字検定」3級～7級ソフトは、各17～19セッションで構成されています。

早い人で30分、おそい人でも1時間あれば、1セッションの学習が終えられます。したがって、毎日1時間、1か月あれば、その級のすべての学習内容をマスターできる計算です。

使い方の



Q&A

このページでは、
TLT Winを使った
学習について、
代表的なQ & Aを
のせました。
このほかにも質問があれば、
お電話で、
下記まで
お問い合わせください。

Q1 パソコンがあれば、すぐに勉強できますか？



よおーし、さっそくソフトを取りよせて、勉強を始めよう！

だめだよ。まず、使用可能なパソコンかどうか、1ページで確認しなくちゃ。ほとんどのパソコンで使用可能だけど、念のためにチェックしておいてね。

画面で学習できるから、プリンタはなくても勉強できるけれど、漢字の練習用にプリントを取り出せるソフトもあるから、プリンタも用意したほうがいいよ。

そうそう、キョーイクソフトのホームページにつながるアイコンも入っているけど、ホームページを見たいときは、インターネットを使える環境をととのえる必要があるね。

Q2 操作方法がわからないときは、どうすればよいのですか？



『TLT Win Setupガイド』をよく読んでから使い始めてね。

ソフトの中の「ヘルプ機能」にも詳しい説明が入っているから、わからないときは、まず「ヘルプ」を見てみよう。



それでもわからないときは、下記の電話で相談を受け付けているよ。
利用してね。

Q3 パソコンがほこりをかぶっていて、だれも使っていないのですが、だいじょうぶですか？



使い方は簡単だし、使うキーも限られているから、初めて使う人でもだいじょうぶだよ！

ほこりをかぶったり、パソコンがゲーム機になっているのも、もったいないね。有効活用、有効活用！



フロッピーの内容を読み取っているとき（ランプがついているとき）にフロッピーを抜かないようにすることと、磁石と水に近づけないことに注意すれば、壊れることはまずないから、あまり心配しすぎないように！ 事故を防ぐためには、学習が完全に終わるまで、フロッピーを抜かない方がいいね。

忘却曲線を利用して、超短期に記憶の定着が可能

記録に挑戦しよう！

